

日本建築学会北海道支部 2012 年度第一回常議員会 議事録

記録：森

日時：2012 年 7 月 31 日（火）19:00-20：30

場所：北海道建設会館建築学会支部事務所

出席： 支部長：岡田

常議員：安藤，小谷，佐伯，森，後藤，斉藤，田村，前田，渡邊

代議員：星野

事務局：菊地

I. 配布資料

前回常議員会議事録報告	資料 1-1
理事会・支部長会議報告（支部長より）	資料 1-2
支部経理報告	資料 1-3
2013 年度日本建築学会大会（北海道）実行委員会発足	資料 1-4
2011 年度道内工業高校卒業設計巡回展	資料 1-5
都市計画専門委員会主催シンポジウムについて	資料 1-6
常議員の役割担当について	資料 1-7
第 32 回北海道建築作品発表会スケジュールについて	資料 1-8
2013 年度特色ある支部活動の企画募集について	資料 1-9
2013 年度日本建築学会教育賞候補業績の推薦依頼および文化賞候補業績、大賞候補業績の推薦依頼について	資料 1-10
後援依頼について	回覧資料

司会 後藤

II. 議事内容

0. 全出席役員の自己紹介を行った。

1. 2011 年度第 5 回常議員会（案）の確認（後藤／資料 1-1）

会議終了時までに確認を行い，議事録について承認した。

2. 理事会・支部長会議報告（岡田／資料 1-2）

・岡田支部長より理事会の報告がなされた。

各資料は [http://friuli-as.eng.hokudai.ac.jp/Okd/AIJ\\_Hokkaido/board\\_directors/1206/日本建築学会\\_2012年6月理事会議事次第.htm](http://friuli-as.eng.hokudai.ac.jp/Okd/AIJ_Hokkaido/board_directors/1206/日本建築学会_2012年6月理事会議事次第.htm) よりダウンロードできる。

1)特色ある支部活動について報告書の充実を行いたい

2)日本建築学会著作賞の紹介が資料に基づきなされた。

3)日本建築学会作品選集新人賞（新設）の紹介が資料に基づきなされた。

4)会長が支部訪問時に建築学会が提供するサービスが首都圏に偏っていることを訴えた結

果、今後、建築学会が主催する講習会、シンポジウムについて積極的に u-stream 配信を行っていくことになったことについて、資料に基づき紹介がなされた。

5)同様に電子会議（遠隔地の役員向け）を積極的に行って欲しいという連絡が本部からあったことが紹介された。

6) 岡田支部長より、資料（ダウンロード）を見ていただいて質問があればメール等で返答させていただき旨の発言があった。

### 3. 支部経理報告（菊地／資料 1-3）

事務局より 4月～6月の北海道支部収支について報告がなされ承認された。

### 4. 会長支部訪問・役員懇談会報告(岡田／資料なし)

1)岡田支部長より会長支部訪問について報告がなされた。

2)岡田支部長より、懇談会の際には、多くの方に参加して頂いた方がよいという意見があった。

### 5. 2013年度日本建築学会大会（北海道）実行委員会発足（岡田／資料 1-4）

資料 1-4にもとづき実行委員会のメンバーについて報告がなされた。

エージェントについては、全体のとりまとめを大成ツーリスト、旅行部門は JR 北海道に依頼した。

### 《審議事項》

#### 6. 支部規定の変更について

岡田支部長より資料 1-2(6)について支部規定の変更について説明がなされた。以下の議事について 11月の支部長会議までに支部の考え方をまとめる必要がある。

議事 1：現状、支部長、常議員選挙は候補者以外の正会員への投票が可能であるがその主旨が不明である。この件に関しては以下の選択肢が考えられる。

- ①候補者以外への投票を認めない
- ②これまでどおり、候補者以外への投票も可
- ③無投票の当選も可とする。

上記、選択肢に関して、支部としてどのような案が可能なのかを議論し、継続審議とした。

これまでは北海道支部では候補者以外の投票を無効としていた。

議事 2：役員会の構成メンバーを広げたい(岡田支部長案) 各委員会の主査も支部役員会(現、常議員会)に参加し、情報の交換、各委員会の状況報告をすることで支部活動の活性化につなげたい。

支部規定には次のような項目があり、同じ扱いで各委員会の主査も役員会にオブザーバーとして参加するように変更ができる。「支部選出の代議員および支部監事は支部委員会に出席をして意見を述べるができる。但し、議決には加わらない。」

東海支部の状況が岡田支部長より紹介され、支部長の意向としては是非実施したいということであったが、現状、各委員会の報告は学術委員会でなされており、また、出席者のス

ケジュール調整が非常に難しくなる可能性や、学術委員会および事業主査連絡会の担当常議員がいるので情報周知は出来ているとの意見もあり継続審議事項とした。

7. 支部常議員得票数の公開について（岡田／資料 1-2（理事会資料 7 月 no14））

資料に基づき、かつては会告に得票数を発表していたことが紹介された。審議の結果、選挙の成立を示すための数字は示して良いが、個々の得票数は公開しないことになった。

8. 2011 年度道内工業高校卒業設計巡回展（佐伯／資料 1-4）

佐伯常議員より巡回展について資料に基づき説明がされ、審議の結果、承認された。

9. 都市計画専門委員会主催シンポジウムについて（後藤／資料 1-5）

後藤幹事より資料に基づき説明がなされた。承認された。

10. 常議員の役割担当について（後藤／資料 1-6）

後藤幹事より資料に基づき説明がなされ、前田常議員をサービス部会に入れたうえで承認された。会員数減少に対して会員のメリットを検討することが必要との意見があった。

11. 第 32 回北海道建築作品発表会スケジュールについて（後藤／資料 1-7）

後藤幹事より資料に基づき説明がなされ、承認された。

12. 2013 年度特色ある支部活動の企画募集について（後藤／資料 1-8）

後藤幹事より資料 1-9 にもとづき説明がなされた。各専門委員会へ連絡することとした。

13. 2013 年度日本建築学会教育賞候補業績の推薦依頼および文化賞候補業績、大賞候補業績の推薦依頼について（後藤／資料 1-9）

後藤幹事より資料 1-10 について説明がなされた。各専門委員会からの推薦を待つことになった。

14. 後援依頼について（回覧資料）

1) (社) 北海道建築設計事務所協会より「第 37 回北の住まい住宅設計コンペ」

報告するとともに追認された。

2) 日本都市計画学会北海道支部より「日本都市計画学会北海道支部研究発表会」

回覧資料に基づき後援を承認

3) (公社) 日本コンクリート工学会北海道支部より

回覧資料に基づき後援を承認

4) 「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針講習会」

回覧資料に基づき後援を承認

15. その他

1) 前支部長からの引き継ぎ事項の確認

1. 名簿の体裁を整えて頂くように依頼があった。

2. 専門委員会の構成員、主査の任期について議論があった。

3. 会員外の方への表彰制度の創設について議論があった。技術賞に関しては、規定は改正済ですすでに会員外の方が受賞可能になっている。

次回常議員会は、10月23日（火）18：30～支部事務所にて開催予定.

以上